

OSA に関連する首脳・外相会談



日・インドネシア首脳会談 (2025年1月11日)



日・モンゴル外相会談 (2025年3月4日)



フィリピンとの署名式 (2023年11月3日)

もっと知りたい方は…

下記 URL をご参照ください。



外務省ホームページ (政府安全保障能力強化支援)
https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/ipc/page4_005828.html



外務省× OSA (政府安全保障能力強化支援)
https://x.com/osamofa_japan



外務省 osa (政府安全保障能力強化支援)
<https://www.facebook.com/osamofajapan/>



外務省 総合外交政策局 安全保障協力課

〒100-8919 東京都千代田区霞が関 2-2-1 電話(代表) 03-3580-3311

OSA

Official Security Assistance

政府安全保障能力強化支援

同志国とともに
日本と世界の平和を支える

外務省

よりよい安全保障環境を創る OSA

OSA(政府安全保障能力強化支援)は、日本の同志国^{※1}の安全保障上のニーズに応え、各国の軍などに向けた資機材提供やインフラ整備を行うため、令和5(2023)年4月に新設された無償の資金協力のしくみです。

近年の厳しく複雑な国際状況の中、日本にとって望ましい安全保障環境を創るためには、自国の防衛力強化だけでなく、同志国における安全保障上の能力・抑止力の向上が重要です。それは、世界の平和と安全を守り、堅固にすることにもつながります。OSAの対象国は原則として開発途上国とし、民主化の定着、法の支配、基本的人権の尊重などの状況も踏まえ、日本と周辺地域の安全保障状況などを総合的に判断して決定します。また、内容は国際紛争と直接の関連が想定しにくい分野に限定しています。



法の支配に基づく平和・安定・安全の確保に向けた能力向上のための活動
(領海や領空の警戒監視、テロ対策、海賊対策など)



人道目的の活動
(災害対処、捜索救難・救命、医療、援助物資の輸送能力向上など)



国際平和協力活動
(PKO参加のための能力強化など)

OSAは、防衛装備移転三原則^{※2}の枠内で実施し、適正性・透明性を確保するため、評価・モニタリングの実施と結果の情報開示や、目的外使用の禁止を含む適正管理等について支援のつど国際約束を締結しています。

※1 ある外交課題において、日本と目的を共にする国。

※2 防衛装備の海外への移転を禁止する場合を明確化し、同移転を認め得る場合を限定するとともに、適正管理を確保すること等について定めた原則。




これまでの実績

令和5(2023)年度のOSA予算額は約20億円、4か国への支援の実施を決定しました。令和6(2024)年度は、予算額が50億円に増額され、更に4か国への支援の実施を決定し、順調に進展しています。


現在までの支援は、インド太平洋地域の海洋における警戒監視のための資機材供与が中心で、他の制度(防衛装備移転・自衛隊による能力構築支援)との連携も実現しました。支援先各国からの評価は高く、首脳会談や外相会談でも感謝や期待の声が多数聞かれています。

令和5(2023)年度


令和5(2023)年度は、11月~12月に各国と書簡の署名・交換を行い、フィリピンに対し沿岸監視レーダー(6億円)、マレーシアに対し救助艇等(4億円)、バングラデシュに対し警備艇(5.75億円)、フィジーに対し警備艇、救助艇等(4億円)の供与を決定しました。




フィリピン



マレーシア






バングラデシュ




フィジー

令和6(2024)年度


令和6(2024)年度は、12月~翌2月に各国と書簡の署名・交換を行い、フィリピンに対し警戒管制レーダー^{※3}の関連機材、沿岸監視レーダー、複合艇など(16億円)、インドネシアに対し高速警備艇(10億円)、モンゴルに対し航空管制システム(13億円)、ジブチに対し沿岸監視レーダーおよび関連インフラ(11億円)の供与を決定しました。




フィリピン



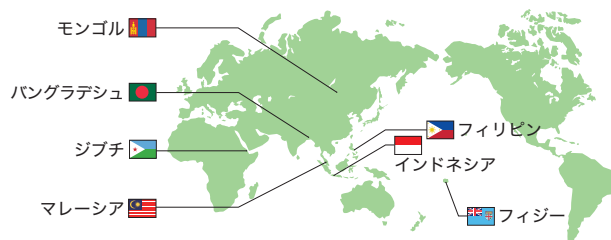
インドネシア



モンゴル



ジブチ



※3 初めての完成品の防衛装備移転として、フィリピンに納入された警戒管制レーダー。

Q & A

Q. ODA(政府開発援助)とは、どこがどのように違うのですか？

A. 支援の目的が違います。ODAが開発途上国の経済社会開発を主な目的としているのに対し、OSAは安全保障能力・抑止力の強化を目指しています。また、OSAは各国の軍を主たる支援対象としている点が特徴です。

Q. OSAの支援対象国はどのように決定しているのですか？

A. インド太平洋地域を中心に、日本との安全保障協力関係の強化や望ましい安全保障環境を創ることといった目的を重視しながら、総合的な優先度を判断して対象国を決定し、支援を実施しています。

Q. OSAでは何を供与するのですか？

A. 支援対象国と協議の上、OSAの目的にかなない、対象国の安全保障能力・抑止力の強化に役立つ機材やインフラを選定しています。供与機材については、日本製を活用することとしており、防衛装備品には当たらない軍民両用品も対象となります。

Q. OSAで供与した機材が目的外使用や第三国へ移転されることはありませんか？

A. OSAの実施対象国に禁止事項をしっかりとって機材を使用してもらえるように、各国との間で評価・モニタリングや適正管理(目的外使用の禁止を含む)などに関する国際約束を締結しています。

